

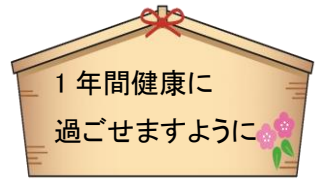
Lunch NEWS

♪早寝・早起き・朝ごはん! 残さず食べて元気な体!~

令和6年1月号

新潟市教育委員会

年が明け、新しい1年が始まりました。「1年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、これは「何事もはじめに計画を立てることが大事」という意味です。今年はどうな年にしたいですか?自分なりに今年の目標を立て、元気に1年を過ごしましょう。



1月の目標

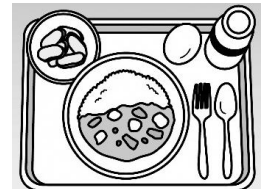
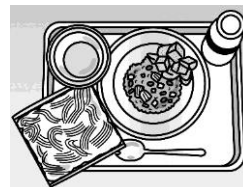
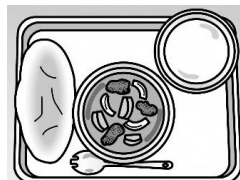
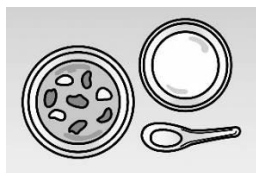
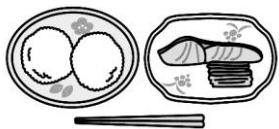
日本の学校給食の歴史を知ろう!

日本の学校給食の歴史は、明治22年に山形県鶴岡市の小学校で、貧しい子どもたちに昼食を提供したことが発祥とされています。その後、各地で給食が実施されるようになりますが、戦争などの影響で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養状態を改善しようと、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)という民間団体から贈られた物資を使い、給食が再開されました。昭和21年12月24日に贈呈式が行われたことを記念し、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25年からは1月24日~30日の1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

昭和29年には「学校給食法」が制定され学校給食の法的根拠が明確になり、教育活動として実施されるようになりました。その後、時代に合わせて給食の内容もだんだんと変化していきました。

社会環境の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化し、近年では食習慣の乱れや偏った食事による肥満、生活習慣病の増加など、健康状態が心配されるようになりました。そんな中、平成17年に「食育基本法」が制定され、食育を推進するための「生きた教材」としての役割も担うようになりました。



昭和22年 最初の給食

昭和51年 米飯給食

1月の行事と食べ物

新年の始まりとなる1月には、この1年を無事に過ごせるように、家族の健康や幸せを願って食べられる様々な行事食があります。

<p>1日~ 正月</p> <p>おせち料理 ・お雑煮</p>  <p>地域や家庭によって内容はさまざまですが、縁起の良い食べ物が使われます。</p>	<p>7日 人日の節句</p> <p>七草がゆ</p>  <p>7種類の若菜を入れたおかゆを食べ、無病息災を願います。</p>
<p>11日 鏡開き</p> <p>お汁粉</p>  <p>歳神様へお供えしていた鏡餅を小さく割り、お汁粉などに入れて食べます。</p>	<p>15日 小正月</p> <p>あずきがゆ</p>  <p>あずきの赤い色には、悪いものを追い払う力があると信じられており、おかゆにして食べます。</p>